



Lucifer • Sandalphon

R18

I WILL MAKE YOU
HAPPY!
Forever!



GRANBLUE FANTASY UNOFFICIAL FANBOOK
LUCIFER × SANDALPHON

2018.11.24

BY ISTINTO



I WILL MAKE YOU HAPPY !

GRANBLUE FANTASY UNOFFICIAL FANBOOK
LUCIFER x SANDALPHON

2018.11.24

BY ISTINTO



I WILL MAKE YOU HAPPY!



Lucifer x Sandalphon

R18

I WILL MAKE YOU
HAPPY!



私はこの先 天司としての力も戻らなくていいとさえ思う

地位も権力も何もいらない 毎日を君の隣で生きていきたい

私はなんと贅沢な願いを抱いてしまったのか…





今度は俺が貴方を守る

だから……



サンダルフォンっ
もういい撤退だ!!



サ
ン
ダ
ル
フ
ォ
ン
さ
ん
！
立
て
直
し
て
体
制
を
！



あと数撃で
倒せる



力
を
貸
せ
！
特
異
点
！！

グラッ

コイツ

弱
き
を
護
る
！
強
き
を
討
つ
！
戦
い
を
し
て
よ
う
！
力
を
貸
せ
！！

ドッ

審判の鐘を
響かせよう……

約束を守る
ために……

ルシフェル様
俺は……！

ズン

グオオオオオ

アイン・ソフ・オウル
……ッ!!

ズン

ド

やったか……っ!!





遺産の消滅と同時に
ルシフェルが
顕現した……?!

ル……

ルシフェル……!

サングルドフォン

サングルドフォンさんっ
さんっ……!!

天司長としての
継いで……は俺が

あの時……
貴方は

14







……特異点



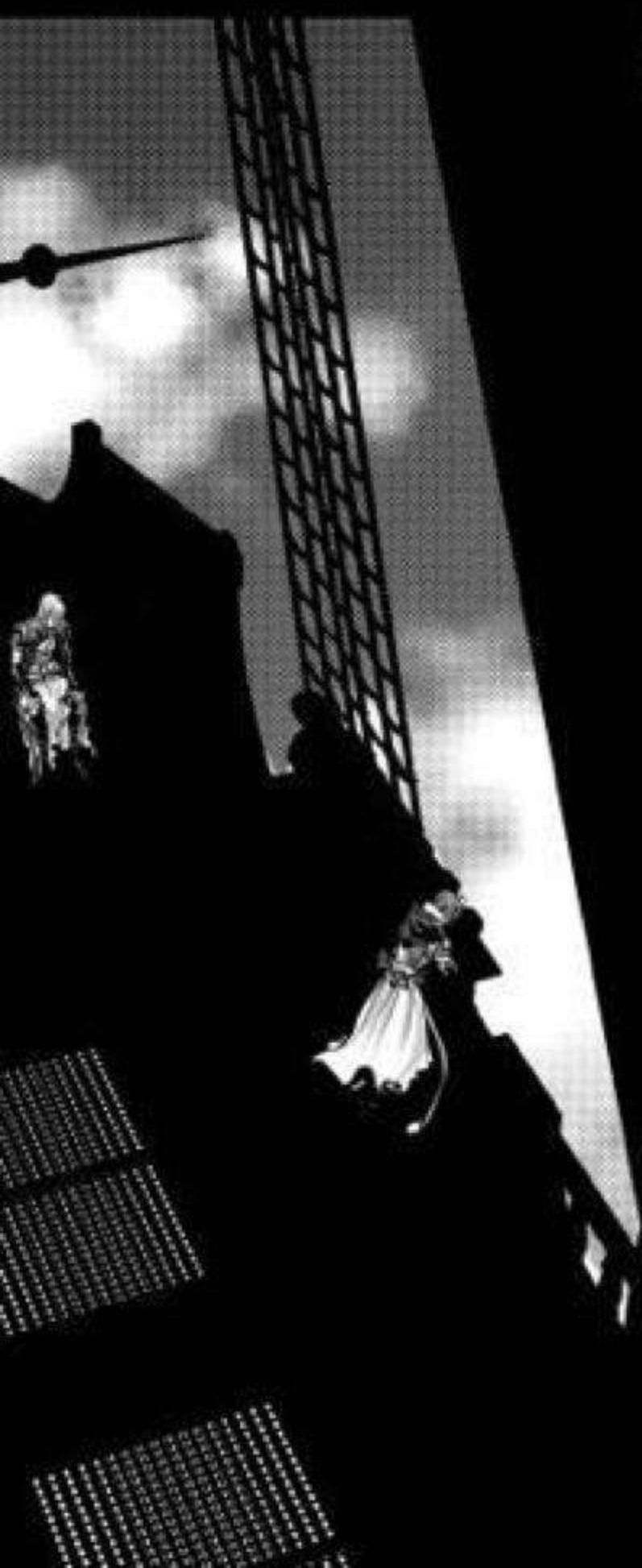
サンドルフオン……

君に
もう一度逢えて
嬉しく思う

よく……天司長としてのの
務めを果たしてくれたね

悪いが：

二人きりにしてくれないか



なあ…ひとつ聞かせてくれ

遺産を倒したから
ルシフェルが
再顕現したのか？

…そうだ

貴方は…全部…
知っていて…？

ルシフェルが
顕現してくれたんだ

素直に喜べばいい…

アレと私は同一時間軸に
存在できない
私の消滅と共にアレは
復活する
…その逆もしかり

それで…俺は何も
知らされずに

貴方の天司長としての
力を受け継いで…

…でも

俺は「役割」が
欲しかった…

…でも

でも…こんな…
こんな継承ってあるか!?



いあんなに君と一緒に
はかたの自分の事
肝心な事を伝えられて
いかなかった

天司長としてのの
役割は果たせてい
それ以外の事とな
私は本当に……

役に立たないようだ

そうだよ……
俺は……貴方が考
事なんて……何も……

すべてが俺の
一歩通行だと……！

君に愛想を尽かされる
のもそういうところ
なのだろう……

君が薙で眠りに
つないでいる間に
私に……
あんなに……
出た……
る……
んだ……
が……
が……

聞いてくれる
だろうか？

私は……

空の民に全てを還元し
空を自然のなりゆきに
委ねようと思っっている

たとい何が起きようと

……え？

これは以上の天司による
差配は空の民の進化を
歪めてしまうと考えた

だから……

まさか……
天司の役割を放棄
するつもりで……

そうだ

なんで……？
どういう事だよ

ここで余計な事をして
成長をさまたげるよりも
彼らがどうしたい道を進む
のか見届けようになった

もう私たちが差配
しなくとも私達の
空の民は進化の道
を感で進んでいる

君がルシファアの
遺産を減ぼした今
役割を全うした今

私は自身の務めを
手放し
今後民の世界を
空の民に委ねる

そんな……!?



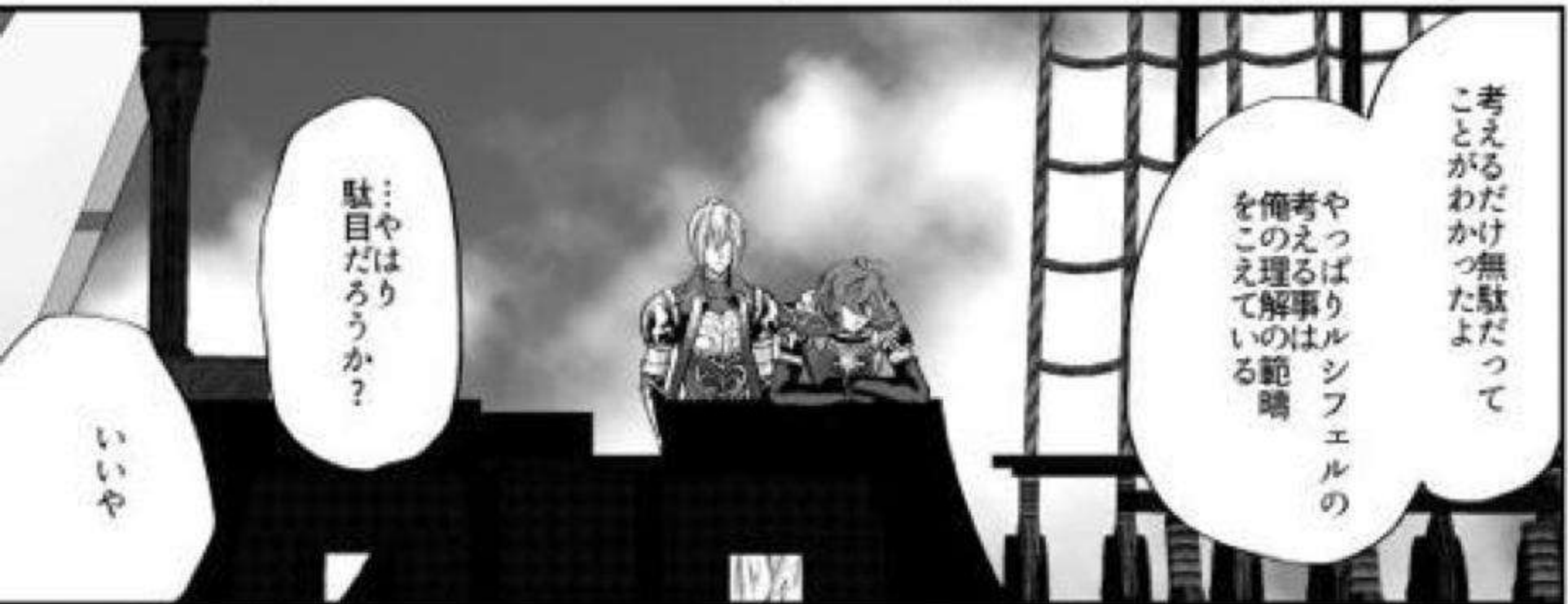
はあ...

あんたって人は...

昔から俺なんか
は到底及ばないか
が先を見つめて

考えて...

何とてかその一部分でも
理解できたらって
思っただけだ



考えるだけ無駄だって
ことがわかったよ

やっぱリシルフェルの
俺の考えるのは
こえてる範疇

...やはり
駄目だろうか？

いいや



...ようやく
君に伝えることが
できた...

ったく...
こんな事をずっと
考えてたのかよ



よくわかんないところが
あんたらしくていいや

ルシフェル…

役割も力もなく
ただここに在る
ものとして

…君の隣に
立つことを
許してくれるか？

ルシフェル…っ

そんな…

何て

思えば

許すだなんて
俺…

あれ？
お二人ともまだ
ここにいたん
ですか？

もう遅い
ですし
そろそろ
お部屋に
入りましょ
う



俺の部屋で
ゆつくり話そう

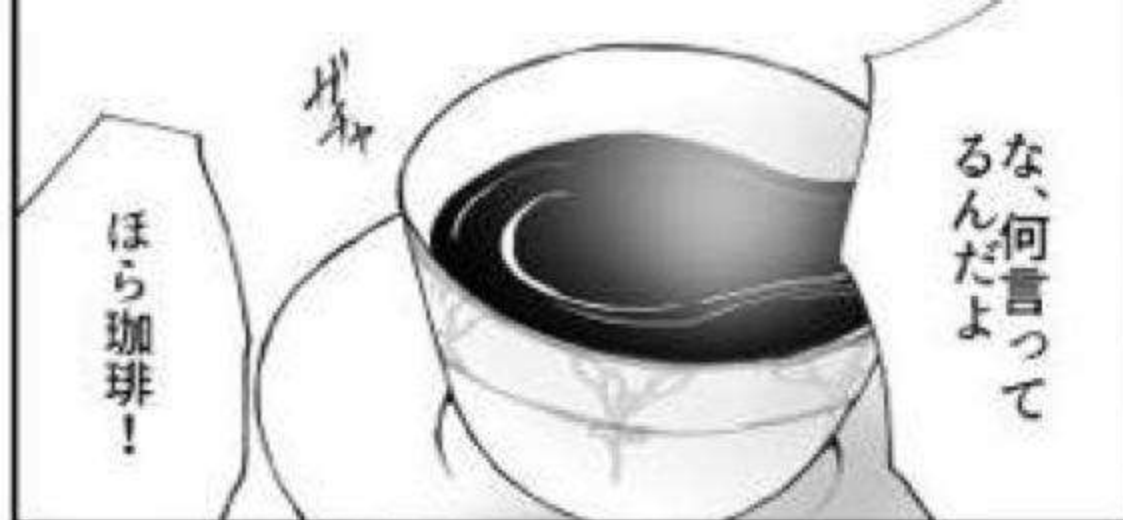
ちゃんと…

あ…

キ…









サントラルフォン…

君を抱きしめても…

はあ？

そんな事…
改めて聞くなっ



ああ…
安らぐな…

バカな事を…

おす…

また…



やっと…
君と向き合える





ルシ…フェルツ

ちゃ

も、いいからっ

あ

久しぶりだし
もう少しし
味わいたい

ちやう

君が司るエーテルが
強くしてくれるようだ

だから
こうして……

$$\begin{array}{r} 40 \\ 30 \end{array}$$

あ

あ
あ

ちや

私を構成する
粒子の結び
つきを

それに……

今中

中

... (v) ...

ダも
メ……や
だつた

それつ

うっ……あ

あ

あ







ルシフェルっ…

はあ…

もう…
どこにも
行かないで…っ!!

っ!!

あっ

っ!!

っ!!

っ!!



私もそれを
体現してみたい

君と共に



誰かの民のように
誰かのために
それが理想になる...

はあ

……ッ
……当たり前だ

つく

……

はあ

あゝ

……あ

……

あ

は



ええ!?

艇を降りる？
珈琲農園を作る？

はめ

実はまだ力が
戻りきっていません

姿形は保っているが

天司としての力は…

そんな…

戦闘を要する依頼には
役に立てないだろうから…

そんな私がここにいろ
うわけにもいかないだろう

そんな事言わないで
ください

『役に立たない』とか
…そんな

地雷

茶のうけ…

ああ…
そうじゃないんだ

すずらん…

勢のめなら回復に
空の民の生活に
体験したいって
言ってるから…

1人にして何か
あつたら大変だし…

だから護衛も兼ねて
俺も同行する

はわわー、
そなた、たのすね

天司長としての
仕事を外は
珈琲を入れる
ことくらいしか
見たことないし

ちやんと生活
ができるか
不安なんだ

サシ
ンダル
フエル
フオン
さんの
ことは
本当
に大
好き
なん
です
が

は
!?

始原の珈琲を探して
あちこち回った時に
思っただけです

あんな事があつたけど
心から想ってるんだって

あの時、珈琲の木が
一斉に芽吹いたとき
私の中に流れ込んだ

サシ
ンダル
フエル
フオン
さんが
思っ
たの
で
大
事
に
し
て
い
た
ん
だ
と
う
に

フクッフクッ

ふた

...













ああ今行く！



サンドルフオン

珈琲を淹れたよ
休憩にしよう



私はすっかり
足手まといのようだね…

何言ってるんだよっ

足手まとい
だなんて…

それに
戻っフエ
ルはまだ
力が

俺がサポ
ー
ト
するの
は？
当然
だろ？



以前とは見違えるほど
今の君は可能性に満ち
溢れ…進化を感じる

特異点と書き少女達
よとの経験は君にとつたのだね



力の調整もしやすい
戻ってきたんだから

ほら…
アイツらだって
いるだろ？

ミカエル達の
ことかい？

ああ

…サンドルフオン



もう
私がいなくても…

俺は…！

は？
何？



全
ルシフェルが
てなんだが

あいつらと旅を
したいのだって
こうして生きて
力を手に入れた
だけ…
俺は貴方のため
だけに…

全
ては貴方の
ためなんだ！

ありがとう…
サンダルフォン

俺は貴方のため
だけに…

ギョッ



私は…

君の事になると
どうしてうまく
言葉にできないのか

オレの話
聞かされたか？



こんにちは
おすねえし
ぶわり

ああん
たか

やあ
いらっしやい



珈琲豆の出来具合は
先月仕入れから
すごく評判がよくて

追加発注がたくさん
きてるんですが

問題ない
そろそろ仕上がる

それは助かります

いつか私の元から飛び立ってしまおうのではないかと

私の手を離れ成長した君を
見るたびに不安になる



今後のお話な
んですが

グランサイファアの
皆さんの協力も得られ
まして

流通確保も問題
ありません

そうか...



この珈琲を楽しみに
あしがたいのは

俺とルシファの
二人だけの作業だ
んなには

そうですねえ...
目下の課題は...
生産です
確保ですねえ

でもこんなに美味しい
珈琲を皆さんに
届けられるなんて

私も商い冥利に
尽きます



さて...
では私はこれで

ここカナマまでは
四大司さん達の協力
以前より行き来しやす
なりました

まだまだ油断
できませんからねえ

団長さん達も
遊びに行きたがって
言っていました

せいのルシファを
2人きりなの
そう簡単には
乗り切れない

そうか...





綺麗だね

わっ

サンダルフォン…

あーっ

さっ

………
するのわっ

ルシフェル…
何？

どうしたんだ？
おはちやうど

私達以外にないんだ…
構わないだろう？

さあ、
ん

でっ

あ









…すまない

どこにも
行かないも
うか…いい？
何を言っ
て
行くわん
だ？
だろ？

整理中…



ルシフェルが俺の全てで
そのために生きてきたって
言ってるのに…

最近おかしかったのは
そういうことか…？

俺を信用してない？

やっぱり全然わかってない

ムカつく……!!

ヒキッ

ルシフェル……っ!!







今度こそ
失望したか…？

貴方は全然
わかってない！！



一体どうい
つもりだよ



ズ
ズ
ズ



ドサッ

！

も



俺は…っ！
貴方が全てなんだ！！

もっと俺を
頼ってほしいし

今度は俺が
貴方の力にな
りたいんだっ

……だから





あんなこと
しなかつて

俺はルシフェル
のものだ!!



…サングルド…フォン

ルシフェル

俺がどれだけ
貴方を思ってるか
わかんないって
言うなら

わからせて
やるから













わかった

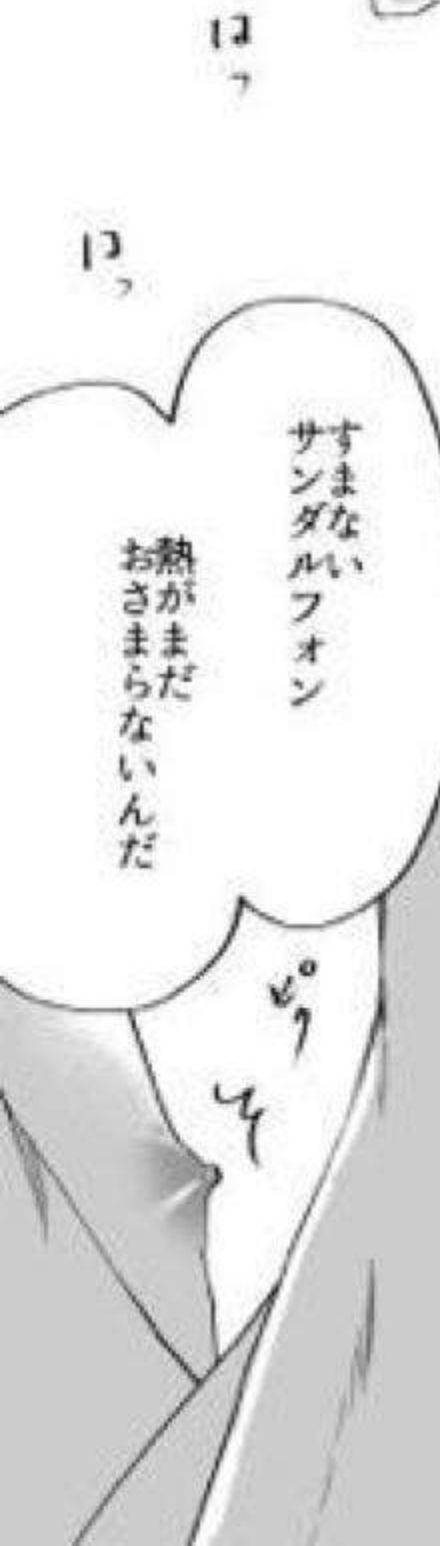




あれ…なんで…?
出ない…
硬いまだ



だめ…やあ…っ



すまないフォン

熱がまだ
おさまらないんだ



ルシ…フエル
俺…もうイつた…のに

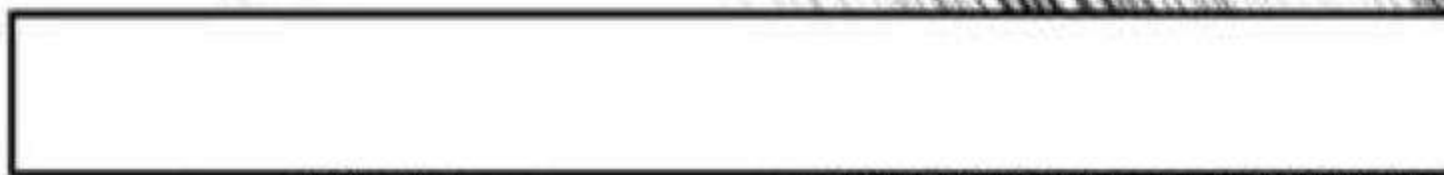
ちよつと…きつ…



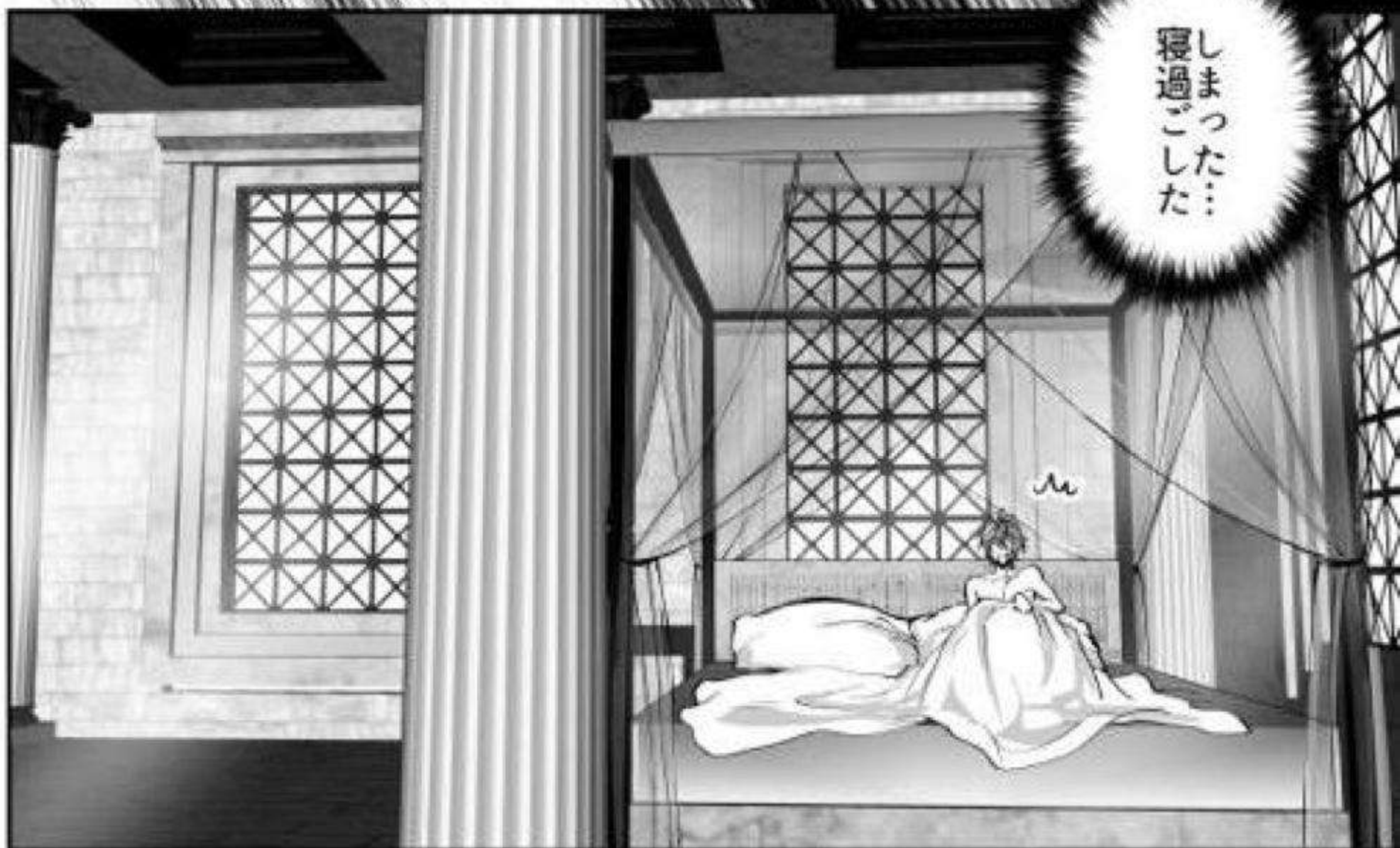




俺も……
離さないっ……!!



しまった…
寝過ごした





……昨夜は
無理をさせて
悪かつたね



終わってる？

何で？

それが収穫の時期だし
俺がやらなかつた

……え!?

へ別に

おひい

仕事は



はあい！
サンダルフォン

アంత達っ!!
なんで!!

サヤ



サンドルフオン…

もう…

力が戻って
ないんだから

再生能力だって
不完全なんだって

もつと
気を付けて
くれよっ！

平気だよ…



またっ！
そういう…



ああ…
そうだったな



助かるよ
サンドルフオン

次からは
もつと気を付ける
ことにしよう

ああ
そうしてくれ



！

じー



戻ったら
この前干しておいた
豆を焙煎してみようか

ああ……いいね

そうだ！
よろず屋が持ってきた
ブランデークーキが
あったんだ

一緒に食べよう

あ、は
何かあったかな……

……急に
どうした
んだよ

ありがとう

サンダルフォン

何？

……私はこの先の
天司としていい力も
戻らなくていい
とさえ思う

地位も権力も
何もいらない

毎日を君の隣で
生きていきたい……

私はなんとも
賢い人じゃない
抱いてほしい
の……

私が欲しいのは
君と共にいる未来だ

ルシ……フェル……

……嫌かい？

今度は俺が
貴方を守る

だから…

ずっと俺のそばに
いてくればよっ

もう…二度と…
あんな…っ

約束する





共に生きよう…ずっと



俺が貴方を幸せにします…!!

I will make you happy! forever

